



校門の坂

山田小学校 学校便り 令和6年度第9号 2月13日発 文責 校長

【山田小学校HP <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1363/>】 是非御覧ください！

ドリル学習の意味と役割！

今回は、最初から校長おすすめの家庭学習を紹介したいと思います。今回おすすめするのは、「ドリル学習」です。小学校で使うのは、だいたい、どの学校でも「漢字ドリル」と「計算ドリル」です。お金を出してわざわざ買っている、この2つのドリルですが、みなさん有効に活用していますか？値段の分は、元を取らないといけませんよ。

ドリルとは、どんな意味でしょうか？

英語で「ドリル」には「訓練」「反復練習」という意味があることから繰り返し学習で特定の能力を身に着けるための問題集を「計算ドリル」や「漢字ドリル」と呼ぶようになったそうです。なので、「解いたら終わり！書いたら終わり！」ではなく、繰り返し使うものです。

漢字ドリルは、効果的に繰り返し使いましょう。

漢字を効果的に覚えるステップは次の通りです。

① 漢字に見慣れる → ②漢字を読む → ③なぞり書き → ④視写 → ⑤覚え書き

①と②のために効果的なのが、「漢字ドリル音読」です。「漢字ドリル音読」とは、漢字ドリルの新出漢字の読みの箇所を1冊丸ごと音読するだけです。小テストのページなどは飛ばします。ポイントは、「なるべく早く、声に出して読む」ことです。ドリル1冊を読み終えたら、タイムアタックに挑戦です。挑戦を繰り返していくと、どんどんタイムが上がっていき、子供は達成感を味わうことができます。また、声に出し、読んでいる自分の声を聞くことで、読みをより覚えられるようになっていきます。授業が進まないとドリルを進めてはいけないと思っていませんか？漢字ドリルが配られたら、1冊まるごと読んでいく。毎日繰り返せば、すぐに読めるようになって、授業で習う時には、見慣れているのすぐに書く練習に取り組めます。漢字が苦手なお子さんは、ためしてみるといいですよ。

計算ドリルも、効果的に繰り返し使いましょう。

計算ドリルは多くの場合、書き込ませずにノートに書いて使います。「くり返し」で使うことが前提です。同じページをくり返すことで、正解数やタイム等で自身の成長が実感できます。

タイムは意外と重要です。同じ筆算を解くのに、A君は20秒、B君は2分かかったならば、学習を終えた意味では同じですが、価値は違います。「なんとか解ける」は「できる」うちに入りません。だから、くり返し練習をする必要があるのです。「わからない」を「わかる」にする。そのためドリルを活用するのです。計算ドリルの手順は次の通りです。

① 問題をノートに解く。→ ②自分で答え合わせをする。→ ③「自信をもって解けた」問題番号に花丸。「悩みながら解けた」問題番号に○。「わからなかった」問題番号に△を書く。→ ④○と△の問題だけをもう一度ノートなどに写して解く。→ ⑤答え合わせ

少し考えても解けないときは、ノートをふり返ることはもちろんですが、先に答えを見るのが大事です。間違ったまま、わからないまま何問も解くという経験は、間違った方法を定着させたり、勉強嫌いを生んだりすることにつながります。

きれいな字でノートに問題を問いている子がよくいます。素晴らしいことですが、小学生のなかには、それを崩せない子も多いものです。算数では、きれいな字にこだわらないようにすることも大事です。「ざっと計算する」というスキルもつけさせたいものです。

